

『防耐火関連の構造方法等の認定に関する実態調査』結果について

株式会社ムサシパーティション工業では、国土交通省による防耐火関連の構造方法等の認定に関する実態調査(平成 19 年 11 月 19 日付国住指第 3121 号)に基づき、該当製品につき調査いたしました。その結果、不燃材料認定を受けている仕様とは異なる仕様の製品に対して、当該認定書を発行していた事実(『大臣認定の仕様とは異なる仕様の構造方法等の販売等を行った』に該当)が確認されたため、平成 19 年 12 月 21 日付で国土交通省にこの旨の報告をいたしました。

【該当製品】

せっこうボード裏張／着色亜鉛めっき鋼板

認定番号：NM-9323

ここに至る経緯といたしましては、平成 6 年に不燃材料認定を受けました当製品は、品質向上を目的とし、平成 11 年に仕様の大幅見直しを実施いたしました。その際、NM-9323 として不燃材料認定を受けていたパネルの仕様も一部変更することとなりました。

具体的な変更点としましては

- ① 表面材の化粧鋼板の厚み
- ② 化粧鋼板とせっこうボードの接着に使用する接着剤の種類

以上 2 点です。

上記仕様変更の内容と主な理由といたしましては

- ① 不燃性能を維持したまま軽量化を実現することで施工性の向上が可能となるため 0.8mm から 0.6mm へと変更
- ② ホルムアルデヒド対策として、従来のウレタン系樹脂の接着剤から、現在の F☆☆☆☆ 対応のクロロプレンゴム系の接着剤へと変更

上記仕様変更を実施する際に、あらためて不燃認定取得が必要か否か、公的検査機関への確認をおこないました。そのヒヤリングの内容から『新仕様は、一般的に不燃材料として扱われている仕様であり、構成材料の変更ではないため、再認定取得の要件には該当しない』との解釈をし、再認定の取得は不要であるとの判断をいたしました。しかし、今回の実態調査報告書の提出に際し、再確認の意味で国土交通省に問合せしましたところ、現在の仕様の場合、新たな認定取得が必要である、とのご指摘を受けました。

現在、国土交通省のご指導を受けまして、現仕様での認定取得の準備を進めております。
平成 20 年 2 月を目標に公的機関での不燃性能試験を完了し、正式に認定を得る予定です。

今後、少なくとも不燃性能試験の結果が明らかになり、あらたな認定書を取得するまでは、不燃材料認定が要求される案件につきましては当該パネルの出荷を停止し、販売先様と協議の上、製品代替等の対応をとらせていただきます。すでに出荷済みの製品につきましては、不燃性能が基準を下回るものではなく、性能上の問題はないとの見解を持っておりますが、万一、試験結果が不適であった場合には、責任を持って対応させていただく所存でございます。

今回、弊社の不燃材料認定に対する認識の甘さと、社内における管理体制の不備により、かかる事態を招くこととなり、販売先様並びに関係各位に多大なるご迷惑、ご心配をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。今後におきましては、コンプライアンス経営の精神を踏まえ、組織・管理体制の整備を行い、ルールの特明確化と全社への周知徹底を図り、このような事態を引き起こすことのないよう再発防止に努めて参りますので、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上

平成 20 年 1 月 25 日

株式会社ムサシパーティション工業

取締役社長 宮本 和之

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 ムサシパーティション工業

経営企画室 宮本

TEL:03-3369-8491 FAX:03-3365-0289

e-mail:m-miyamoto@musashi-pt.co.jp